



待ちに待った長崎くんちも過ぎ、すっかり秋らしくなってきました。
食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋…盛りだくさんの“秋”を楽しむことができますね。
長崎国体も10/12～始まります。長崎のいたる所で大会があり、長崎代表の選手の健闘を祈りたいと思います。
今回は長崎記念病院 臨床検査部の紹介をいたします。

【長崎記念病院 臨床検査部】

臨床検査部 課長 千々岩 保

〔臨床検査について〕

臨床検査とは、主に病院で行っている血液検査や尿検査などのことで、これらは「検体検査」とも呼ばれています。臨床検査はこの他にも、患者さんに接して行う心電図検査、超音波検査、脳波検査などの「生理機能検査」があります。そして、これら各種検査業務には、国家資格である臨床検査技師が携わっています。



〔当院の臨床検査部紹介〕

当院の臨床検査部は、地域の救急医療に対応すべく11名のスタッフが一致団結協力して休日の日直や時間外及び深夜の呼び出し待機等の業務を行っています。これにより24時間365日途切れることのない検査体制を実現しています。そして更に、これら検査の全てから得られたデータを管理するのも臨床検査技師の大切な役割で、日々の精度管理を行う事により患者さんに安心して受けて頂ける検査体制も実現し継続しています。

また、病棟における採血業務にも携わっており、検体採取から報告までの全ての行程に関わりながら、より迅速で質の高い検査結果の提供を目指しています。最近では、これら日常業務の他にも、院内感染対策委員会やNST（栄養サポートチーム）等の院内活動への積極的な参加も行っており患者の皆様の診断、治療の支援に務めています。

◆最近取り入れた検査の紹介

今年の6月より睡眠時無呼吸症候群の診断を行う為の精密検査（PSG検査）が出来る様になりました。自分では気づきにくい睡眠時の無呼吸に家族の方が気付かれた場合や、昼間に強い眠気や倦怠感が続くなどの自覚症状があった場合など是非当院の内科外来受付にご相談下さい。

